



## 令和4年度夏期環境家計簿モニター

# モニターさんの声

皆さんからいただいた省エネへの取組方法や感想などをご紹介します。今後の参考として、ご一読ください。

### 《Sayuri》

- 暖房便座のスイッチを切った。
- ウォシュレットの温水温度を下げた。
- 南側窓に水を入れたヤカンを置いたら、夕方にはぬるくなっていた。
- 食洗器の洗いが終わり、乾燥になったら電源を切り、扉を開け、自然乾燥した。

### 《R&M》

- 猛暑の影響で、エアコンの使用時間が増えた。
- 照明は入り切りを頻繁に行うと使用電気が増えると思っていたが、実際には入り切りをまめに行う方が節約になると知り（電源・スイッチをこまめに切って待機電力を減らす）、まめに切るように努めた。

### 《たけまる》

エアコンや扇風機を使わず窓開けで過ごす機会を増やしたことにより、省エネにつなげることができた。

### 《ぶんたこす》

使わない家電のコンセントは抜いておく等の細々とした節電するも、エアコンの電気消費には追い付かず。

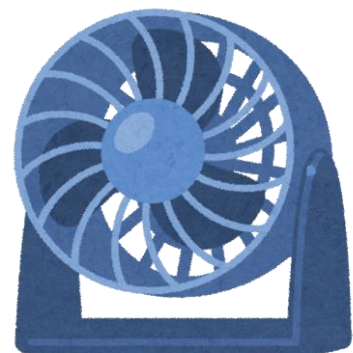
ガス減は何故？ 台所仕事が手抜きになってきたかも。料理をしないということは出来合いの食品を買うということ。するとプラごみが出る。結局 CO<sub>2</sub> 排出減にはならないのでは。

### 《モンデオ》

ガス電気とも使用量はほとんど差がない状況だった。しかし電気料金は何と1.5倍にも！昨年より猛暑でもエアコンの使用は増えていないと思われる。扇風機の効果的な使い方をして設定温度を上げた効果かもしれない。

### 《Happy》

- 今年は去年よりも夜も暑い日が多かったため、寝ているときにエアコンを使用している日が多かった。
- サーキュレーターを購入し、サーキュレーターで我慢できる夜は、エアコンを使用しないように努めた。



### 《キタマチ フジ》

記録的猛暑とコロナ禍の中、電気・都市ガス共に使用量は、昨年比微増であったが、電気・ガス料金の大幅値上げにより、光熱費合計は、3割以上も増加となった。

### 《MF》

気温が高かったため、エアコンの使用頻度が増え、電気の使用量が若干増えたのだと思う。

それに対し、ガス代の使用量は減っているにもかかわらず料金がこんなに高騰しているとは気づかなかった。ガスの使用量が減った理由としては、シャワー浴が多かったことや、給湯器の設定温度を少し下げたことが節約につながったものだと思う。見直す良いきっかけになった。

### 《まさ》

- ・7、8月の電気代が昨年より増加の要因は暑さだと思う。
- ・7、8月ガス代の約25%減は、給湯器の買い替えの影響と暑さのせいだと推測する。



### 《おっちゃん》

セミの鳴き声が本格化するのに1か月程遅れる等、気候変動は全国的に広がり各所で洪水にもなっている。そんな中、今月はエアコンの24時間付けっ放しが続いた為、値上げもあるが今年の2倍の料金となった。

### 《ヨギボー》

- ・日頃から節電には心がけている。使い終わったらコンセントを抜いたり、照明はLED球にしたり、必要がなくなれば消灯したりと小さなことだが家族みんなで行っている。でもエアコンはこの暑さなので、27℃設定でほぼ毎日使った。使用中はその部屋で家族がなるべく一緒に過ごすようにした。
- ・新聞で佐賀銀行がCO<sub>2</sub>削減の為に、電気やガスの請求書をスキャンするだけでCO<sub>2</sub>排出量を自動算出するサービスを行う、という記事を読んだ。  
節電やCO<sub>2</sub>削減は一人ひとり皆が協力し合っこそ効果が出ることだと思うが、たった一人では効果は表れないと思わずに、これからも節電し、節約していこうと思う。決して無理はしない程度で、細く長く続けたいと思う。

### 《あっきっき》

- ・暑くてエアコンを連続運転していたため、電気代が高くなったと思われる。
- ・曇りがちの日が多くかつ気温が高かったため太陽光発電の活躍が少なかった。エアコンの使用が多かった。
- ・残暑が厳しかったので、昼夜を問わずエアコンを使用したため、電気代がかさんだ。

### 《あおば》

電気は昨年と比べて、使用量29%増に対して料金72%増となった。本年は6月ごろから猛暑が続き、エアコンの使用が増加したためと考えられる。

都市ガスは昨年と比べて、使用量は11%減少したが、料金は16%も増加した。

気温が高い状態が続いたため湯沸かしに要するガスが減少したためと考えられる。

### 《4A》

随時冷房等を使用したため電気使用量が増加した。

### 《kicchi》

- 天候によって光熱消費量が左右されてしまう。
- エアコンの使用方法等工夫した結果、わずかでも昨年より節約できた。例えば、わずかな時間であれば付けたままにしておく、設定温度等。
- 昨年から環境家計簿モニターに参加している。以前から意識はしていたが、数字にすると振り返ることができ、良かったと思う。光熱費が値上がりしていることは知っていたが、前年と比較して改めて驚いた。

### 《タカ》

エアコンの温度設定等、効率的な電気の使用を心がけていたが、エアコンの長時間使用や衣類乾燥機の使用等により、使用量が増加してしまった。



### 《C.T.》

エネファーム設置したので電気代は安くなったけどそれ以上にガス代がとても高くなった。

### 《青りんご》

国分寺市がノーカーボンシティ宣言をしたのがとてもうれしい。行動するのは市民1人1人。まずは続ける事。CO<sub>2</sub>排出には省エネはとても大切。

水の使用も減らしたい。水道から出す水の太さくらべを「小平下水道館」で展示している。1分の水の出し方を比べて、2Lペットボトルで表している。鉛筆の太さが良いとされているが、今の水道の出し方は自動だったりさまざま、もっと水量を減らしても洗いものはできる。また、水道から直接の水は飲める水になる程、電気を使って浄化している。『オゾン処理』大切にしたい。

ゴミの減量も大事。自分のできるCO<sub>2</sub>削減を続けよう。地産・地消のこくベジを買って食べるのもノーカーボンシティには大きな役割。

### 《素浪人》

- 電気…金額は対前年比30.6%アップした。これに関しては供給者側の料金改正の影響と考える。使用量は前年比3.1%と微増となった。

原因として、猛暑が長く続いた（東京令和4年7～9月 真夏日66日）そんな厳しい条件にも関わらず使用量を低く保った事は冷房の使用を極力抑えた事（扇風機のフル活用）が原因、また、洗濯乾燥機の使用が減少した事も一因と考える。（昨年検討した空調機交換はしばらく延期にした。次期節電対策の一助にする。）

- ガス…料金は前年比115.7%でした。使用量に関しては、8.1%節約となった。電気でも述べた通り、料金改正が行われた事、使用量に関しては水温が高いこと、節約の意識をもって、使用したことが原因と考えられる。何を節約というより意識をもって使用することが重要と考える。
- まとめ…節電・節ガスも外的要因に一溜りもない。地球環境を守るためにも、家庭として思い切った利用方法の改善が必要と考え、同時に、難題な課題でもある事が現実である。

### 《JJ》

暑い日が続いたが、なるべく家族で同じ部屋にすることでエアコンを使用する部屋を減らした。日が出ている間は2階がとても暑くなるので、なるべく1階で過ごすようにした。

### 《2C》

- 2022年7～9月15日は家建て替えのためUR団地に仮住まい中だったため、通常とは少し違う数値が出た。（エアコンの設置ができない部屋に冷風機を置いていた等）
- 9月16日新居に入居したので、断熱性能の向上や、新しい省エネエアコンの設置等で、消費電力の削減が見込まれる。

### <参考>

